



地方自治体での市民防犯支援を紹介

船橋市は住民個人向けの補助金制度があります

松戸市は青パト燃料費や防犯拠点への補助金制度が整備されてます

**柏市は防犯灯や防犯カメラなどに限定されており、
他の自治体に比べ見劣りは否めません。今こそ・・・**



当会防犯防災部の独自調査によると、人口を基本にした市政規模で柏市に類似する船橋市や松戸市では、標題のような取り組みが既に進められ、市民防災活動を積極的に支援する行政側姿勢が明確にうかがわれます。

誠に悔しい限りですが、柏市の防犯対策への補助金制度については、防犯灯や防犯カメラ設置・維持への補助金制度に限られ、取り組み内容の見劣りは否めません。

犯罪発生をいかに防ぐか、減らせるかの抜本的な考えが備わっていない印象にある柏市防犯行政につき、今、真剣に考え直す必要があるものと、私ども風早北部地域ふるさと協議会は考えます。防犯指導員の制度にばかり対策の拠り所を求めることでは SDGs 的市民防災は決して担保されないものと危惧します。今回は、標題の「船橋市」及び「松戸市」の防災対策（補助金制度）につきご案内します。

当然ですが、これらの制度は船橋市や松戸市民が対象ですので、柏市民は補助金の受給対象では「ない」ことを申し添えます。

【添付の資料】

- 船橋市の「令和7年度住まいの防犯対策物品購入補助金」次頁以降の添付資料を参照
- 松戸市の2種類の自主防災活動向け補助金制度はこちらの QR コードで閲覧可能です

